

# 特別賞

## 横浜市道路局

### 都市計画道路環状2号線(新横浜駅北口地区)街路整備事業

都市名	横浜市	事業主体	横浜市
事業概要	<p>新横浜駅は東海道新幹線の停車駅で、1日約22万人の乗降客数を数える首都圏南部の玄関口となっている。利用者は今後さらに増加することが予想され、駅施設の整備、イベント開催時の多量の歩行者やバリアフリー化された歩行者空間の整備が求められていた。このため、JR東海が施工する新幹線駅舎の改良と駅ビルの建設と一体的に歩行者デッキの整備と駅前広場の再整備を行ったものである。</p> <p>歩行者デッキを、駅前広場及び主要幹線道路である環状2号線上に整備するとともに、駅前広場についてはバスロータリーの改良、要所にはエレベータを設け、バリアフリー経路を確保したものである。</p> <p>○歩行者デッキ：新設延長350m、幅員4～14m ○駅前広場：10,000㎡</p> <p>○総事業費：約32億円 ○事業期間：平成15年～平成20年</p>		
表彰理由	<p>環状2号線新横浜駅入口の交差点上に設けられた直径50mの円形の歩行者デッキが、駅前のランドマークとなっている。新横浜駅付近には、東海道新幹線の乗継ぎ利用の他、横浜アリーナ、日産スタジアムなど大型イベント施設のターミナル駅となっていることから、環状2号線を始めとする自動車交通流と完全に分離され、利便性の向上や安全性が確保されたことが高く評価された。また、広場の再整備により、駅からバス、タクシー乗場へのアクセスが容易となったことも評価された。</p>		

